

新型コロナウイルスへの対策を要望

1. 感染症に対する体制の充実
2. 医療体制の充実
3. 子どもに対する感染症対策の徹底
4. 乳幼児保育と児童・生徒の学びの保障
5. 児童虐待、DV被害並びに感染症に対する偏見・差別対策
6. 中小企業支援、雇用対策の強化
7. 地元農産物の需要喚起、消費拡大

このたびのコロナ禍での経験を教訓に、今後への体制の強化・充実、子どもへの学びの保障や乳幼児保育サービスの継続、心理的不安解消のための対策、中小企業や雇用対策のための支援策、コロナ禍での消費行動の変化に対応できる制度改善や財源確保、農業のセーフティネット対策などを要望しました。

新名神開通による地域経済の活性化

令和6年度末の全線開通を目指して急ピッチで工事が進んでいます。名古屋方面、東海地方へのアクセスはますます便利になります。また、インターチェンジ周辺には企業立地が進み、地元地域には雇用や税収などの経済効果が期待できます。しかし一方で、インターチェンジへの交通集中により国道307号や大住地内の府道八幡木津線などの一般道路の交通渋滞問題が顕在化してまいります。自民新会はこの問題を取り上げ関係機関に強く改善を申し入れています。



令和4年度 予算要望書を市長へ提出

皆さんの声、地域要望をしっかりと届けています!!

令和3年もかつて経験したことのない「新型コロナウイルス感染症」に翻弄されました。しかし、昨年末には一時的にコロナの収束が見られましたが、年が明けるとオミクロン株の猛威が見られ、第6波に備えた感染症対策は重要です。一方、感染症対策により大きなダメージを受けている産業への対策など、地域経済の回復に向けた取り組みも非常に重要な課題です。このような中、市民や事業者の生活を守り抜き、ウイズコロナ社会においてもこれまでの感染症対策を検証し、未来を担う子孫のためにも安全で安心できる「成長都市京田辺」を引き継いでいくこと。そして少子高齢化による財政問題など様々な課題解決に向けて、市長へ予算要望を提出しました。

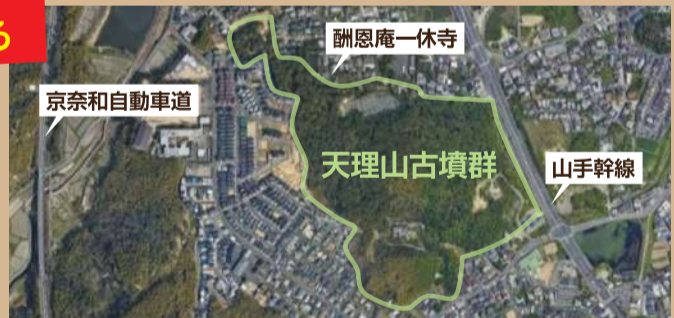


<p>1 新型コロナウイルス関連緊急対策</p> <p>体制の充実 学びの保障 児童虐待、DV被害 中小企業支援など</p>	<p>2 安全で心安らぐ優しいまち</p> <p>防災・減災・治水 危機管理・消防 人権・男女共同参画 食の安全など</p>	<p>3 緑に包まれた美しいまち</p> <p>都市の品格形成・公園 環境・循環型社会 森林の荒廃化防止 土地利用の適正化など</p>	<p>4 いきいき健康で明るいまち</p> <p>障がい者・高齢者福祉 認知症対策 ヤングケアラー支援 生活困窮者対策など</p>	<p>5 子育てしやすく未来を育む文化薫るまち</p> <p>子育て支援・教育環境 子ども園整備 中学校給食 スポーツ振興など</p>	<p>6 活力にみちた便利で快適なまち</p> <p>北陸新幹線活用戦略 都市基盤整備 農業支援 観光政策など</p>	<p>7 まちづくりプランの推進</p> <p>行財政改革 協働によるまちづくり 大学連携推進 デジタル化推進など</p>
--	--	---	---	---	---	---

天理山古墳群 国の史跡認定に向け取り組んでいます

史跡指定されると京田辺市の負担は土地購入費22億円の2割程度に抑えることができる

天理山古墳群
 酬恩庵一休寺の裏山にある古墳群。今回の試掘調査の結果、古墳時代前期末(4世紀末)の前方後円墳2基と前方後方墳1基が丘陵上に非常に隣接して築造される全国的にも極めて重要な古墳群の一つであることがわかった。



所属常任委員会報告

京田辺市議会は、3つの常任委員会があり、行政の広範、複雑化、専門化にともない、議案等を合理的かつ能率的に調査、審査します。

総務常任委員会



ふるさと納税について

ふるさと納税による税収確保のため、ポータルサイト及び返礼品並びに企業版ふるさと納税について委員間で調査検討する。

女性政策について

女性施策を推進していく要として「女性交流支援ルーム」は欠かせない施設であり、その使用役割を委員間で調査検討する。

文教福祉常任委員会



本市のGIGAスクール構想を推進するための課題と提言

昨年全ての小中学生を対象にICTタブレットを学習に導入してはじまったGIGAスクール構想の実現のため、執行部と議論を交わし、桃園小学校、培良中学校で担当教諭と面談をするなど、教育現場の課題や要望をお聞きしました。それらを抽出し、本年度中によりよい学習支援を提言していきます。自民新会としても教育へのICTの活用を強く要望していきたいと考えています。

建設経済常任委員会



ゼロカーボンシティについて

本市は昨年2月にゼロカーボンシティ宣言を行った。本市の特性をふまえたゼロカーボンシティ達成に向けたロードマップなどについて委員間で調査検討する。

河川の治水対策について

全国的に降雨災害が頻発する中、木津川や市内河川の治水の実態を正しく認識し、必要な治水対策と併せて流域治水について委員間で調査検討する。